

福音宣教の原点に立つ！

万代 栄嗣



例

年以上の寒さの日が続く2月の日々ですが、私たちの教会には、主キリストの愛や聖霊の力の働きが如実に現れる熱い話題が溢れていることを感謝します。去る2月12日の月曜日には、大洲キリスト教会の献堂式が行われ、本当に感謝でした。

前の週から大洲は50数年ぶりの大雪に見舞われ、街全体が30～40cmもの

雪に埋もれるような状態に。街の機能も、交通網も大混乱。やっと雪が解け始め

て、これなら月曜日の献堂式も大丈夫そうだ、と思ったのも束の間、日曜日の深夜から月曜日の午前にかけて再び大雪となり、大洲へと向かう高速道路など中心的な交通網が全面ストップとなってしまいました。

ここ松山からも、その他、県内各地や高知県などから参加しようとしていた方々には本当に大変だったと思うのですが、中には4時間も5時間もかけて、献堂式を目指して来てくださった方もおり、100名近い方々の出席を得て、本当に素晴らしい、信仰と希望に溢れる献堂式が持たれました。大洲も例に漏れず、過疎化、高齢化の激しい日本の地方都市なのですが、そんな地で、聖霊の恵み溢れる教会を立て上げ、主キリストの愛と恵みを人々にお届けする働きを推し進めて行くことができるのは、本当に幸いです。

また、今週の火曜日、2月20日からは、本年のインド伝道が行われます。今回は、22日(木)～25日(日)の4日間、アンドラ・プラデシュ州のジャゲイヤプッタという街で行われる大集会や牧師セミナーが中心となります。どうかお祈りください。ご存じのように、インドは現在ヒンズー至上主義を掲げる政権下にあり、福音宣教や教会の働きが厳しく制限されています。元より、過激なヒンズー教徒からはいろいろと妨害を受ける可能性があるのですが、何としても主キリストの愛に溢れ、癒しや解放のみわがが豊かになされ、真の救いの場とされますよう、あなたにも牧師と心をつ一つにして祈っていただきたいと思います。

大洲での新たな教会の働きも、インドにおける海外宣教の現場でも、福音宣教の原点に立ち返り、信仰をシンプルに Brush Up させて、私たちにできることを実行していきたいと思います。パウロは伝道の現場に立った時の心構えを“私のことばと私の宣教とは、説得力のある知恵のことばによって行われたものではなく、御霊と御力の現れでした。それは、あなたがたの持つ信仰が、人間の知恵にささえられず、神の力にささえられるためでした。(1コリント2:4,5)”と語っています。小手先のわざではなく、しっかりと信仰を働かせて、主キリストのみわがを仰ぎ見たいと思います。どうか、あなたもお祈りください。

rcommend

おすすめ情報

おすすめ



2017週報合本

■松山福音センター編
松山福音センター (1500円)

昨年の週報を本にしました。お証しや連載もまとめて読めるので、恵まれて役に立つと大好評です。

プレゼント



幸せを呼び込む 聖書の言葉31

■万代栄嗣著
ウィズダム出版(1000円)

日々の生活の中で、聖書の言葉を具体的に活かすアイデア満載。あなたの人生が変わります。